

Feng-Shui Gallery

special edition vol.17

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『オフィス part 2』



【写真1、2】 執務空間の床色を、部署によって分けることで、そこで働くスタッフの意識の切り替えが無意識に起こります。そして集中力が上がり、ミスが起こりにくくなります。【写真3】 鮮やかなグリーンはリフレッシュ効果があります。会議室の通路などに使用することによって、脳がリフレッシュした状態で会議に入れる効果が期待できます。【写真4、5】 チェアはポイントとして色彩を加えるのに、とても便利です。床や壁面に使うにはビビットすぎる色でも、チェアの張り地ぐらいの大きさであればとても綺麗に見えます。

【大写真】 壁面と床の色が鮮やかな執務室空間。デスクもナチュラルの木目天板を使用しており、通常のオフィスにありがちな無機質なイメージではなく、暖かみのある空間となっています。チェアに使用したオレンジ色がアクセントとなり、視覚情報に刺激を与えています。

壁面や床の仕上げ色に変化をつけ、 色彩で社員のモチベーションをアップさせる！！

風水デザインの住空間で用いる主要な色は、優しく落ち着きのある色でした。これは、住空間を寛ぎや安らぎを感じさせるものとするためです。これをオフィスに置き換えてみると、その空間というのはスタッフが業務をしやすい空間、もしくは、やる気にあふれエネルギーにがんばれる空間であることが望ましいでしょう。人間の脳に一番情報量として多く入ってくる視覚情報、その中でも、色彩に特化してデザインすることで、働くスタッフの業務効率を上げ、モチベーションを上げる効果のある空間が生まれるのです。